

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2017. 7. 24		
所属学部	融合理工学府		
所属学科・専攻	創成工学専攻		

1. 留学先について

留学先大学名	Glasgow School of Art			
留学先所属学部等	Product Design			
留学期間	出発日 2017. 1. 23	入学日 2017. 1. 23	修了日 2017. 6. 16	帰国日 2017. 7. 13
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他()			
	通学時間	5分		<input type="checkbox"/> On campus
	通学方法	徒歩		
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> () 人部屋 <input type="checkbox"/> その他()		
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> リビング <input checked="" type="checkbox"/> その他(ランドリー/制作スペース/ブレイクルーム)		
食事	自炊 70 %	学食 5 %	外食 15 %	その他 10 % (ホームパーティー) 記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	海外旅行保険「tabi hoたびほ」		
	大学指定の保険(名称)			<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他			
渡航ルート	ex.) 成田⇔シカゴ(飛行機)⇔ウィスコンシン(電車)			
	ナント ⇔ ロンドン(飛行機) ⇔ グラスゴー(飛行機)			

2. 留学にかかった費用について

総費用	1,500,000	円	* おおよそでかまいません。				
出処							
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円	<input type="checkbox"/> その他	円	
援助	<input type="checkbox"/> 両親	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input checked="" type="checkbox"/> その他	100,000	円
奨学金	<input type="checkbox"/> JASSO	円	<input checked="" type="checkbox"/> その他名称(トビタテ!留学JAPAN)	1,440,000		円	
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/> その他()			円	

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	10,000	円	<input type="checkbox"/> その他()	円
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input checked="" type="checkbox"/> キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/> その他()	クレジットカード	()

2-2. 各費用の支払い方 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	41万、クレジットカードで。
その他	25万、現金/クレジットカードで。

2-3. 内訳

* 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)				円
海外旅行保険				円
OSSMA				円
査証・在留許可証				円
住居			410,000	円
食費	£	900	135,000	円
通学に要する交通費				円
教科書、教材費	£	100	15,000	円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 (自転車代、生活用品)	£	80	12,000	円
その他 (プロジェクト参加費、美術館)	£	192	28,800	円
その他 (交通費)	£	360	54,000	円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ex. 正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無	
1 NHS Collaborative Project	正規		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
2 Design Theory 2017	正規		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
3 Urban User Experience project	正規		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
4		=25	有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
5			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
6			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
7			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
8			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
9			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
10			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

3-1. 授業科目の選択、登録方法

Product Design コース→セメスター2 のアカデミックイヤーで上記1~3の履修科目。

3-2. 授業内容、方法に関して

基本的にある期間で1つのプロジェクトをグループまたは個人ワークで行っていくワークショップスタイルです。学生は、スタジオに来て作業を進めてもいいが、どこでミーティングを行おうが過程は問わない。週に1度、5人グループに分かれて担当の教授に進行を確認してもらうチュートリアルがある。個人的にチューターに連絡を取り最終プレゼンテーション前にもう一度見てもらうことはできるが、教授の都合次第。
最終プレゼンテーション前日には、プレゼンルームの机の上に展示を一人一人準備してプロジェクターに投影したスライドで決められた時間内でプレゼンテーションを行う。企業と連携したグループワークでは、クライアントを目の前に最終発表を行った。

3-3. 語学力について

普段の生活から授業のディスカッションまで全て英語。しかし、スコットランドの訛りがある（グラスゴーは中でもとても強い訛りがある。日本でいう津軽弁？ぐらいのアクセント）ので、こちらがしゃべる内容は通じるが、聞き取りになれるのが一苦勞。4か月では慣れなかった…。
しかし、フランスと違って一応普段からの聞こえてくる会話が英語なので、最終的には発音が渡航前より多少良くなったと思う。自分で管理すれば自由な時間も多かったので英語で映画をたくさん観たり、ディスカッションレクチャーや文化施設に積極的に足を運んだ。

3-4. 図書館など学内施設について

大学のすぐ隣に図書館がある。一般の文書の印刷はここで行っていた。大きくはないが、パソコンルーム、小規模な展示スペース、勉強スペースがあり毎日学生で賑わっていた。入退室に学生証パスが必ず必要。

私の大学ビルは学生食堂、工房スペース、グッズ販売ストアなどがあるメインの建物だったので、マッキントッシュ設計のアートスクールを見学しにくる人のツアーが多く見られた。

特に、工房とメディア室の設備は最高。工房では、必ず管理者が数名いて、まず機械使用前に木材講習・金属講習を受けてから付属されているエプロン・メガネを着用して利用する。作品の構造や作り方で悩んでいる時は工房の管理者たちに相談すれば助けてくれる。ただしお昼休憩あり（13時～14時）

メディア室はオンラインで予約して電子機器の貸し借りをを行う。相談も可。

3-5. その他

基本的に授業内容、いつチュートリアルが行われるかなどのアナウンスは大学のオンラインポータルで行う。全てオンラインで管理されているので慣れればとても楽。ただいつもイベントのメールなどチェックしとかなないと見落とす危険あり。

ネイティブが多いので英語が早かったり、言い回しが独特だったりして理解できないことが最初あるが、ちゃんと教授に聞き返したり同じコースの学生に確認したりすればみんな親切におしえてくれる。ただし、自分から聞かない限り向こうから教えてくれることはない。私の入ったプロダクトコース3rd Yearの学生たちは、仕事仲間という感じだった。スタジオでの作業を終えてから、普段から関わる機会は少なかった。

4. 生活面 *気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

大学も市内に位置していて、私の住む寮も大学から徒歩5分ととても立地が良い場所にあった。大学に向かうまでの急斜面を登るのは毎日ふくらはぎのトレーニングになった。

スイートルームの一人部屋もとても広く、とても綺麗だった。前半でグラスゴー美術大学に交換留学していた学生から布団などを受け取り、家具も最初から付いていたので設備に問題はなかった。

途中でシャワーがバルブから外れてどうなることかと思ったが受付に言いに行ったらすぐに取り替えてくれた。排水口は洗剤をスーパーで買って3か月おきくらいに自分で洗浄しないと急激に水がれが悪くなる。

8人で共有のシェアキッチン、フラットによってルールが違うのだが（初めに来た人がキッチンのルールを決めていい。）私のフラットは1棚1人で分かれていてゴミ当番も途中から週でローテーションで回っていたので綺麗で管理されていました。他の階はありえない匂いがするところも多々。清掃人は来ないので基本的に掃除は自分たちがする。

設備は基本ナントより少し良く、家賃が高い。月8万。来て初めの1か月で留学期間分全ての家賃を払うので、クレジットの上限を外しておかないと1回で使えなくなる。

4-2. 食生活について

グラスゴーもナント同様、物価はそんなに高くなかったです。ただし、平日の昼間でもいつでも、お酒と刃物を買う際にはIDの証明が必要で、常にパスポートをどこでも持ち歩かないといけなかったのが面倒だった。

スコットランドのスーパーでは午後10時以降お酒が買えなくなるので、要注意。それ以降はパブに行くか、またはそれまでにお酒を買いだめて誰かの家でホームパーティーをする。スコットランドの人は基本家飲みが好きなのか後者が圧倒的に多かった。外で飲むことはあまりない。

新鮮な食材がフランスよりも少なかった気がする。その代わりにチルド食品の種類は豊富で、みんなフライドポテトやピザをオープンに入れて食べていた。たまに海が近いので魚をグリルで焼いて食べる程度。不味くはないが美味しくもない。伝統料理のハギス(羊の内臓とひき肉、オークを混ぜたもの)はとても美味しい!ウイスキーもオススメです。蒸留所まで見学に行ったりすると良い。

私はケールが好きでよくマッシュルームとバター炒めにして食べていました。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

フランス同様、数時間後には接続が切れているので何回もつなぎ直さないといけない。基本大学にも寮にも道端のテレフォンボックスにも、無料wifiがついているので心配ない。また外で連絡を取らない。

私は現地の留学生に聞いて、giffgaffのSIMを買って、トップアップで(sui caみたいにお金をチャージして使う)10ポンドづつなくなったら入れていた。使わない月は3ポンドで済むこともあるので、トップアップ機能があるこのSIMはオススメ。オンラインで注文してポストで届くので、オンラインでアクティベートすれば完了です。月のパッケージも5ポンドからあるので毎月プランを変えることもできる。でも基本あんまり使わない。イングランドでは海外通信じゃないと使えなくなる。

4-4. 服装について

緯度の割には、暖流のせいかわりと暖かいです。フランスで氷点下だったのが意気込んでたくさん着込んでダウン羽織って行ったがあんまり寒くなかった。2月からは最低温度でも5度以上はあるので心配知らない。ただ暑くもないので常に15度前後の気温。何か羽織るものがある。

4-5. 健康管理について

晴れの日が少なく、常に曇りか雨。初めの1か月は無意識にやる気が削げていたこともあった。春分の日を境に、サマータイムになり日照時間もいきなり長くなるので日没が2時間以上遅くなり、5月では22:30まで日が沈まなかった。体内時計が狂ってくるのでそこは時間を常に確認して過ごすが良い。(1月は日没が15時らしい)

乗り越えるとメンタルが強くなります。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

風邪はあったが、大きな病気はなかったので利用しなかった。
持参の薬でなんとかなる。

4-7. 課外活動について

大学の授業のほかに、課外活動で短期間のデザインワークショップ(学生だけでなく、卒業生、プロのデザイナーが参加)に2回参加、街全体のアートイベント、またグラスゴー美術大学のマスターの子の卒業制作の手伝いを行った。メールで来るディスカッションレクチャーにも参加し、他学科の展示会、ファッションショーなどにも顔を出し、意見交換を行った。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

グラスゴーに移動してから1か月半経ったころ、あまりにもメンタル的にも無意識に暗くなっていたあまり外に積極的に出ていなかったことに気づき、自分から日本人コミュニティ、留学生コミュニティはないかとFacebookでグループやイベントを探す。グラスゴー美術大学ではなく、グラスゴー大学(総合大学)に比較的大きな日本人コミュニティを見つけ、数日後イベントに参加した。そこから輪が広がり、メンタルも回復してきて、様々な展示会にも顔を出すように。留学生の知り合いも増え、展示会で顔を合わす人と工房や違うイベントで再び顔を合わせ、休日と一緒に出かけようになった。

またフラットの隣人インドの学生ととても仲良くなり、お互いに個人プロジェクトの話し合いなど意見交換を行っていた。プロトタイプのテストの際も、同じコースのプロダクトデザインの人だけでなく他学科の人からのフィードバックを得ることで様々な視点からの改善点が得られたのは良かった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

常備薬(イブ、正露丸、ビタミン剤)
 マスク数枚(乾燥しています。初めの週などは喉がカラカラになります)
 コンセントアダプター USBポート付(Cタイプ/BFタイプすべてに対応→2か国行く人は必ず持って行って方が便利です。)
 手袋、マフラー、ニット帽
 サニタリー(日本製品が一番です。フランスのも問題はないですが臭いが強いそうです。)
 食料品(だし、インスタントスープ)
 ウェットティッシュ
 使い捨てスリッパ or ビーサン
 デザイン道具(カッターマット、スケッチマーカ、定規)
 風呂敷・箸・折り紙(お世話になった方々に渡すお土産品)

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

ポケットwifi
 炊飯器
 スーツ

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

イギリス人の性格は結構日本人に似ていると思った。フランスと異なって初めから仲良くはなれないが、徐々に信頼を得て仲良くなっていくスタイル。こちらから話しかければ心優しいので返してくれるが、向こうから誘いがくることはまずない。攻めるのみ。攻めすぎると引いてしまうのでバランスが難しい。

訛りが強いけれどイングランドに比べればスコットティッシュは優しい。日本でいう関西人みたいな感覚。

基本的にお金もあまり使わない。ホームが好きな人が多いが、アウトドアでいうと個人競技が多い気がする。サイクリングやハイキング、ロッククライミングなど。団体競技はカヌーが有名。スコットランドの大都市エジンバラは歴史的で綺麗な街だが、グラスゴーは素朴で路地に面白いお店があったりとじっくり歩いてみるとたくさん発見がある素敵な街。学生も多い。

カトラリーの種類がたくさんあり、一つ一つ単語が違うのには驚いた。(イングランドのホームステイ先にて)

スコットランドとイングランドは全く違う国と思った方がいい。貨幣も印刷がまず違うし、たまにお互いの地域で異なった紙幣は使えないことがある。間違ってもスコットランドで「イングランド」と言っただけではいけない。タクシー初乗りがとても安いので、夜は乗るといい。

オンラインでシステムを管理しているところが多かったので、フランスよりもきちんとしていたし、時間も比較的オンタイムだった。あまり会話はしないが個人主義、自分で自分自身を管理するというスタイルだったのでとても成長できた気がする。初めなれるのに苦労したが、もう少し長くいたかった。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 *複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

エジンバラ(観光)2017年2月(2日間)、8000円
 ロンドン&ブライトン&ヘンフィールド(ホームステイ)2017年4月(6日間)、5000円
 ミラノ(観光)2017年4月(2日間)、10000円
 コペンハーゲン&ヘルシンキ&キルピスヤルビ(観光)2017年4月(6日間)、60000円
 グレンゴヤン蒸留所(見学)2017年5月(1日間)、3000円
 ロックロモンド&スターリンキャッスル&蒸留所(ツアー)2017年5月(1日間)、8000円
 ダブリン&ブレイ(会社見学)2017年6月(3日間)、10000円
 アラン島(観光)2017年6月(2日間)、15000円

その他 *気分転換やストレス発散法など。

映画を観る。
 クライミングジム。
 スコッチダンス。
 川辺をサイクリング。
 古着屋やアンティークのお店を探す。
 ハイキング。
 公園で人間観察。
 鍋パーティーをする。

お疲れ様でした